

8年総合的な学習の時間

「宮島を紹介しよう ～世界遺産宮島の名所を発信！～」

1 単元の目標

宮島を訪れる観光客を案内する活動を通して、宮島の観光資源の魅力や価値・課題について理解し、観光客の目的や意図に応じた案内の仕方を考え、宮島と自分とのかかわりを意識しながら行動したり生活したりできるようにする。

2 単元の評価規準とルーブリック

(1) 本単元の評価規準

おもてなし力	伝える力	見つめる力
宮島の文化・自然等、それらに対する思い・願いを理解し、観光客に伝えたいことを見つけて行動している。	観光客の目的や意図に応じて、「相手意識」を考えながらガイドをしている。	観光地としての宮島の現状をふまえ、自分自身にできることに気付き、今後の生活や行動に生かそうとしている。

(2) ルーブリック

	B	A
おもてなし力 【知識・技能】	宮島にある資源や課題等について理解している。	宮島にある資源や課題等について、観光地の活性化とのつながりを関連させ、理解している。
	情報を整理・分析し、伝えたい内容を明らかにしている。	情報を整理・分析し、自分自身の思いを入れながら、伝えたい内容を明らかにしている。
伝える力 【思考・判断・表現】	整理・分析した情報をガイドと関連付けて理解し、必要な情報を伝えている。	整理・分析した情報をガイドと関連付けて理解したり、自身の情報を付け加えたりして情報を伝えている。
	観光客の目的、意図に応じてガイドをしている。	観光客の目的、意図に応じて「相手意識」を考えながらガイドをしている。
見つめる力 【主体的に学習に取り組む態度】	目標を明確にし、課題の解決に向けて、行動しようとしている。	目標を明確にし、課題の解決に向けて、計画を立てて行動しようとしている。
	仲間と協働して課題を解決しようとしている。	互いの特徴を生かし、仲間と協働して課題を解決しようとしている。

【SDGsとの関連 11番】



住み続けられるまちづくりを

3 単元の計画（全11時間）

★今回のガイドは、「無料観光案内所」のようなイメージです。

次	学習活動	指導上の留意点 他教科等との関連
一	<p>課題の設定（1）</p> <p>○主に観光業に目を向け、住み続けられる宮島にするために、自分たちにできる地域貢献を課題として設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 宮島の名所や魅力を発信していくために、既存のガイドを参考に、パンフレット等を作成してオリジナルのガイドができないかを考える。 	
二	<p>情報の収集（1）</p> <p>○1学期の学習に加えて、インターネットや宮島観光協会作成のパンフレットを利用したり、地域の方（保護者等）に話を聞いたりして情報を収集する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 宮島学園オリジナルマップ作成、ガイドの際に必要な要素についても考える。 	
二	<p>整理・分析（1）</p> <p>○既知の知識や調べ直したこと等をもとに、情報を整理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 収集した情報から、マップ作成、ガイドに必要な情報や要素等を、分析する。 <p>○振り返りの際の資料として、アンケートを作成する。</p>	<p>○情報の正確さ・適切さに留意させ、整理・分析させる。</p>
三	<p>まとめ・創造・表現（3）</p> <p>○整理・分析したことをどのように伝えれば（形にすれば）、相手に喜んでもらえるかを考え、話型を基に班ごとに原稿を作成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一方的なガイドにならないよう、相手意識を持ち、表現方法を考える。 	<p>○島内と島外実施の相違点を考えさせ、相手意識を持った宮島PRになるようにさせる。</p>
三	<p>振り返り（1）</p> <p>○完成したオリジナルマップ、ガイドについて振り返り、ガイドに向けて質が向上するよう練り直す。</p>	<p>★宮島PRした相手からどのような質問が出たかまとめ分析し、次回のガイドで役立てる。</p>
四	<p>まとめ・創造・表現・実行・振り返り（4）</p> <ul style="list-style-type: none"> 島内で行われているイベント等についても情報を収集する。 <u>宮島栈橋で、グループ毎に宮島ガイドの実施をする。（本時 9時間目）</u> グループ毎で、観光客（日本人）を対象にオリジナルマップを使用したガイドを行い、宮島の各名所を紹介する。 ガイドの内容について振り返りをするとともに、ガイド時のアンケートで得た情報を分析したり、届いたメールに返信したりする。 	<p>○相手意識にポイントを絞り、観光客の目線で客観的に振り返らせる。</p> <p>○地域貢献の観点から、島内イベントの情報提供をする等、中学生としてできる工夫を考えさせる。</p>

<p>【9年生のボランティアガイドに向けて】</p> <p>○宮島の魅力を発信する方法や内容，表現方法を再考する。</p> <p>○実施した宮島PRについて，内容や構成，話し方や相手の反応等を振り返り，次の島内ガイドへの課題とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人一人が文章でまとめ，振り返りをし，学びを発信していく。 ・ガイドした相手から届いたメールを読み，自分達が実行した活動の有効性を再確認する。 	<p>○どのような説明が効果的であったか再確認させる。</p> <p>○他者に宮島を発信することで，宮島の魅力を再確認し，宮島への愛着を深めさせる。</p> <p>○学びの有用性を感じさせ，9年生のボランティアガイドに向けて意欲を高めさせるとともに，宮島に誇りを持たせるようにさせたい。</p>
--	---

★プロジェクト型学習としての授業構想

「日本屈指の観光地としてあり続けるためには？」という本質的な問いに対し，観光地である宮島の現状を見つめ，今後も観光地として栄えるために，自分たちに何ができるかを考えさせた（現実と未来について）。その手法として，宮島学園の生徒だからこそできる宮島ガイドに取り組むこととした。本単元では，宮島学園が育成したい資質・能力のうち，「おもてなし力」，「伝える力」を特に育成させることを目的とした。

単元の前半では，宮島の魅力や観光地としてのリソース，観光客の推移等，「見つめる力」を育成するための学習内容とした。中盤から後半にかけて，それらをもとに，観光客の視点に立った喜ばれるガイド，ガイドする際に必要な要素について考えさせ，「おもてなし力」，「伝える力」を育成する学習内容とした。

本単元を通して，自分たちがガイドした観光客が「また来たい」，「こんな魅力があったのか」など，より宮島のことを好きになったり，宮島が観光地としてより活性化したりする一助になればと考えている。最終的には，今回で身に付けた「おもてなし力」や「伝える力」を，生徒自身が他教科や，実生活につなげることができるようにしたい。

4 本時の流れ（9時間目／全11時間）

時間	学習活動 主な発問(T)と予想される児童の反応(C)	・評価（方法）○留意点 ◆主体的な学びにつなげる手立て
(3分)	1 課題意識を持つ。 <ul style="list-style-type: none"> ・事前に立てた個人目標，グループ目標を確認する。 (T) 今日の個人目標とグループ目標を，グループ内で声に出して確認し合ってください。 (C) ・個人目標は，「●●●」です。グループ目標は，「●組以上に声をかけ，ガイドする。」を目標にします。	◆事前に，本時の目標を個人とグループごとに持たせておく。 ○グループごとの目標は，具体的な数値目標（ガイド実施数）を決めさせ，目標達成を明確化させる（30分目安）。
(2分)	2 本時のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> ① 私たちの名所をガイドし，魅力を伝えよう。 </div> (T) 私たちにできる地域貢献の一つとしてガイドを実施します。宮島の魅力を伝え，観光客が「また来たい」と感じれば，宮島が今後も発展するための力となります。宮島の魅力をしっかり伝え，楽しんでガイドをしてきてください。	◆中学生としてできる「地域貢献」の一つであることを再認識させ，誇りと使命感を持たせる。
(35分)	3 ボランティアガイドを実施する。 <ul style="list-style-type: none"> ・宮島栈橋で，活動を実施する。 ・オリジナルマップを配付する。 ・英語でガイドすることに挑戦できる人は挑戦する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 【役割】 <ul style="list-style-type: none"> ・観光者に声をかける人 ・アンケート用紙にメモをとる人 ・ガイドする人 ★役割を毎回ローテーションしながら行う。 </div>	○生徒を自主的に活動させるため，教員は安全確認をしながら見守りに徹する。 ◆役割分担を決め，一人一役，役割があるように決めさせておく。 ・観光者の目的・意図に応じて，宮島の名所について分かりやすく案内している。【伝える力】（活動の観察・振り返り） ・相手の状況を意識して，必要な情報を選んでいる。【おもてなし力】（活動の様子・振り返り）
(10分)	4 まとめ <ul style="list-style-type: none"> ・本時の目標に対する振り返りをし，9年生のボランティアガイドへつなげていく。 	◆ガイド時の様子を伝え，自分のガイドを振り返るヒントを与える。

伝える力	おもてなし力
A 観光者の反応を確かめながら，目的・意図に応じて，宮島の名所について分かりやすく案内している。 B 観光者の目的・意図に応じて，宮島の名所について分かりやすく案内している。	A 相手の状況を意識して，必要な情報を選ぶとともに，自分の思いを入れながら伝えたい内容を決めている。 B 相手の状況を意識して，必要な情報を選んでいる。

① 本質的な問い (何度も問い直され答えが更新され続ける「問い」)

日本屈指の観光地としてあり続けるためには？

② 単元を貫く問い (単元を通して考えを深めていく「問い」)

宮島学園の生徒だからこそできる宮島ガイドがないだろうか。

③ 個別の問い (単元を構成する授業内で身に付ける知識・技能等)

私にとっての宮島の魅力は？ 観光地としての現状は？ (リソース, 観光客の推移 etc)
現在行われているガイドは？ ガイドに必要なものは？ (英語力, パンフレット等)

単元計画の
構想を立てる

- ① 自分なりの魅力について調べる。(自然・寺社等)
- ② 観光客の視点にたった発信方法
- ③ 英語科との連携
- ④ オリジナリティを出す。